

# 図書室だより vol.131

中央大学高校図書室

## ♪1学期クラス別貸出冊数発表♪

### 1学期クラス別貸出冊数（コミックを除く）

1A	M/標準
1B	M/標準
1C	M/標準
1D	M/標準
2A	M/標準
2B	M/標準
2C	M/標準
2D	M/標準
3A	M/標準
3B	M/標準
3C	M/標準
3D	M/標準
教職員	M/標準

### 【一人あたりの貸出冊数】上位は

- ★★★★★1位…1C (3冊)
- ★★★★★2位…1B (2.58冊)
- ★★★★3位…1A (2.24冊)
- ★★★4位…3C (1.84冊)
- ★★5位…3D (1.49冊)

☞1年生が大健闘！4月のオリエンテーションの時に借りた人も多く、その後も図書室に来ているのかな？  
☞2年生は部活などで忙しく、3号館に来る機会が少ないのかもしれません。図書室が遠い！なんて言わないで気軽に寄って下さいね。  
☞3年生は特に「社会研究」の発表のための利用が多いです。お楽しみの本も手に取ってほしいです。

### 新書とは？

1年生は夏休みに新書を読む課題が出ていましたね。皆さん、どんな本を選んだでしょうか？  
いわゆる「新書判」と呼ばれるサイズで、文庫版より少し縦長の本です。

内容としては、哲学・心理学・歴史・政治・経済・科学など学問的な本(本格的な学術書よりも易しめ)や実用書、エッセイなどのノンフィクション(架空の物語ではないもの)です。200ページそこそこで、読みやすいボリュームです。

岩波新書、講談社現代新書、中公新書、ちくま新書…。いろいろな出版社から出ていますが、中高生向けのテーマが多い、岩波ジュニア新書、ちくまプリマー新書から読んでみてはいかがでしょうか。

### ☆図書委員からのオススメ☆

『校閲ガール』 宮木あや子 著 角川文庫 B913-ミ-1

主人公、河野悦子(こうのえつこ)はおしゃれ大好きで、スーパーポジティブ！憧れのファッション誌の編集者になるため出版社に就職した。しかし彼女が配属された部署は、ファッション誌とは程遠い超地味な校閲部だった…。

理由は「名前がそれっぽい」から。

校閲の仕事とは、原稿に誤りがないか確かめること。入社して2年目、ファッション誌の編集部に異動できるよう仕事を完璧にこなす日々だ。原稿や周りではちょっとしたトラブルが時々起こるが、彼女の毒舌と行動力で切り抜けていく！

石原さとみ主演で昨年秋にドラマ化されたお仕事小説。

この本は主人公・悦子と仲間たちの掛け合いのテンポが良くて、読み終わった後にはスカッとした気持ちになりました。また校閲という仕事は、誤字訂正以外に、本に出てくる場所や電車の時刻表を確認したりします。このことを知り、校閲は本の内容のとても細かいことまで気を使うすごい仕事だと感じられました。ドラマ化されたこともあって、本が苦手な人も読みやすい本だと思います！

ぜひ読んでみてください。

3年 女子図書委員

シリーズ第2作 『校閲ガール ア・ラ・モード』(B913-ミ-2)も図書室にあります！